

桶川東中だより

☆☆令和3年度☆☆

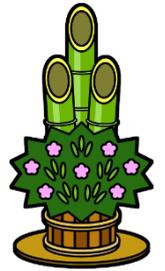
桶川東中学校通信 No.9 発行：1月12日（水）

「喜怒哀楽」を共感し合える仲間

校長 矢澤 等

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。令和4年を新鮮な気持ちで迎え、生徒たちには勉学に励んでもらいたいと思います。正月には「初」のつく事柄が多くあります。「初夢」「初日の出」「初詣」などといった具合です。1月6日には、桶川でも「初雪」が降りました。

「初」という言葉が持つ、喜びや緊張、祝福などの気持ちを大切に、心豊かに過ごしていきたいです。



「喜怒哀楽」という言葉があります。人間の様々な感情を指す言葉です。この2年間のコロナ禍により、生徒たちは素直に感情を表現することを我慢してきたかもしれません。せめて、学校生活の中だけでも、感情を豊かに表現できる雰囲気を作ってあげたいと考えています。お互いに自分本位にならず、他人の感情も受け入れられる仲間であってほしいです。喜びや苦労と一緒に感じ合い、共感していく中で、思いやりの心も育っていくように感じます。

本校の生徒会は、代替わりするたびにスローガンを掲げています。現在の本部役員は『輝努挨拶（きどあいらく）～煌めけ！自分だけの色～』として、生徒一人一人が輝き、努力し、挨拶あふれる、楽しい学校づくりを目指してくれています。様々な感情を、より具体的に表現し、活気のある学校生活を創り出そうとしています。そうした中で、「いろんな才能（はな）を咲かせる東中」「持ち味を生かして自分だけの色を煌めかせる東中」に向かっていけたらと願っています。

毎年、生徒たちには「3学期は感謝の学期」と伝えています。これまでの学校生活で関わり合い、支え合ってきた仲間や先輩、後輩への感謝の気持ちも、素直に伝えられたらいいと思います。学校行事でも、少しずつ他学年とも交流できるようになってきました。喜怒哀楽を共感し合える仲間のありがたさを知り、共に過ごした日々を大切にしながら、温かい気持ちを育んでもらいたいです。

○不安や悩みのある人は一人で悩まず相談しよう。

文部科学省よりお手紙が配付されました。自身の問題、進路の問題、家庭内の問題あるいは友人関係などで、不安や悩みを抱えている人はいませんか。家族、友人、先生などに相談してみよう。また、相談しづらいときは電話やメール等で相談ができる窓口もあります。一人で抱え込まずに相談してみてください。

電話やメール、ネット等の相談窓口
(リンク先に相談窓口一覧があります。)

☎ 0120-0-78310



https://www.next.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/06112210.htm